

ななかま

NO.595 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙

2026年2月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南 1-2-29

TEL 018-823-7748 fax 018-823-7751

Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp



秋田県本部の春闘討論集会・県本部委員会が、1月25日秋田市で開かれました。大雪のため除排雪が待ったなしの中で、組合員、執行部合わせて16人が参加しておこなわれました。

はじめに、『令和の米騒動なぜ起きた?』と題して、農民連顧問・あきた農林九条の会共同代表の佐藤長右衛門さん(上の写真)が講演を行いました。

組合員の中には、兼業農家として稲作にとりくんでいる人も多く、また消費者の立場でも関心のあるコメ問題です。佐藤さんは自ら60年余り米作りをしてきた中で、縦横に語っていただきました。以下は、講演の主なポイント。

- ・令和の米騒動はアベノミクスの破たん・政治災害
- ・コメ輸入自由化を進めた自民党政治
- ・減反のしすぎと稲作農家の疲へいが米騒動の根本原因
- ・食料問題は農家だけの問題にしない
- ・地産地消、身土不二、三里四方病知らず
- ・一度失った農業・農山村・農地は決して輸入できない
- ・消費者の購買力が高まらなければ、農産物売れない

続いて執行部が春闘方針を提起し、参加者が発言しました。

●本荘清掃分会(今野)

昨年は、賃上げ1万円を勝ちとったが、それ以上を目標に取り組みたい。

●秋田運送支部(鈴木)

燃料の軽油の暫定税率の引き下げがあるが、トラックの車両価格の高騰、インボイス制度などで大変だ。通勤手当が支給されていない人もいて、採用にも悪影響がでている。

●末広運輸分会(村田)

ここ数年毎年賃上げしてきているが、今年はさらに上積みした金額を勝ちとりたい。

●秋田農林支部(佐藤)

昨年は東北がまとまって、電話相談会を行った。今年も進めていきたい。

●東北ダンプ支部秋田分会(田中)

4月からの貨物自動車運送事業法の改正施行を前に、自家用白ナンバーダンプの排除の動きが強まっている。県の建設部長名で、それを後押しするような建設業界あての文書が昨年末出たが、交渉して新しく訂正した文書をださせた。



選挙に行こう

八面六臂(はちめんろくべい)

しばれるねえ。冬は寒いから味噌汁がうまいんだよね。千昌夫さんの代表曲の一つ味噌汁の歌は、聞く者に温かく語りかけるようにはじまる▼「しばれる」は北海道や東北で、特に厳しく冷え込んだり、凍るように感じられるほど寒いことをいう言葉。角川俳句大歳時記では、冷え込むよりも厳しい寒さで、寒気に対する畏怖すら感じられる言葉と記す▼大寒もすぎたが、寒さが最も厳しい頃とされる。これから二月上旬の立春の頃にかけて、各地の年間最低気温が観測されることが多い。今冬は厳しい寒さに降雪という敵も猛威を振るう。体調に気を付けてうまく対応したい▼暦に合わせた訳ではないだろうが、予報によると今週から今季最強寒波が日本列島に居座るといふ。強い冬の気圧配置で日本海側を中心に大雪など冬の風が長く続く恐れがある。雪国に暮らす者にとって、ため息が白く凍るような知らせと聞いていい▼『しばれるねえ』と交わす言葉もしばらく続く事になるだろうか。気がめいりそうだが、大寒は寒の内の折り返し点。ここを過ぎれば、暦は少しずつ春に近づく。温かなみそ汁を飲んで、迫る最強寒波に立ち向かいたい。

(正)



